

## 被爆70年調査報告書

# 「被爆者として言い残したいこと」から何を学ぶか

シリーズ9回目は、継承する会が日本被団協とともに実施し、昨年10月に完成した被爆70年調査の報告書（『被爆70年を生きて「被爆者として言い残したいこと」＝調査報告＝』）から、何を学びとることができるか、参加者とともに考えたいと思います。

被爆70年調査の報告書には、被爆者がこれまで生きてきた経験、そして今の思いや考えが表れています。それらを知ることが、今後の被爆者運動を考えるうえでも、また「被爆体験の継承」を実践していくうえでも、重要な一歩となるでしょう。一人一人が核兵器や被爆者を取り巻くさまざまな問題に向き合っていくために、報告書の内容を踏まえて意見交換し、理解の共有を試みたいと思います。

当日、報告者による調査結果の概要の説明の後、この調査にかかわった人たち（回答した被爆者や入力をした人）から特に印象深かったことや今思うことなどについて簡単に話してもらいます。その後で、報告者を含め、参加者でこの調査から何を学ぶことができるのか、何を学ばなくてはならないのかについて自由に議論していきたいと思います。

参加されるにあたって、調査報告書を既に読んだことがあるかどうかは問いません。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 記

- ◆ 日 時 2018年2月3日（土）午後1：30～4：30
- ◆ 場 所 主婦会館 プラザエフ（5階 第1・2会議室）【裏面地図参照】  
東京都千代田区六番町15  
JR中央・総武線、東京メトロ丸の内線・南北線「四ツ谷」駅 麴町口正面
- ◆ 問題提起者：八木 良広氏（愛媛大学教育学部特定研究員）  
根本 雅也氏（学術振興会特別研究員・立命館大学衣笠総合研究機構プロジェクト研究員）
- ◆ 定 員：50人 [※ 準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください]
- ◆ 参加費：1,000円（学生・院生：500円、高校生：無料）
- ◆ 申込み方法 裏面「参加申込書」（FAX）またはe-mailでお申し込みください。

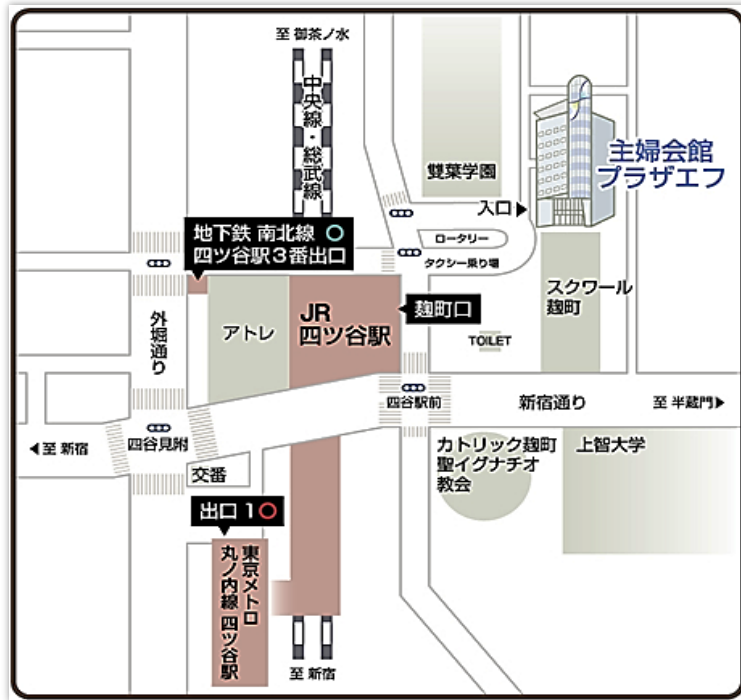
---

主 催：ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会／日本原水爆被害者団体協議会

〒102-0085 東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F TEL/FAX 03-5216-7757

E-mail: hironaga8689@gmail.com

【会場地図】 プラザエフ（主婦会館）



主婦会館プラザエフ交通のご案内

- ・ JR 四ツ谷駅 麹町口前（徒歩1分）
- ・ 東京メトロ 丸の内線/南北線 四ツ谷駅（徒歩3分）

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 宛

FAX : 03 - 5216 - 7757

e-mail : hironaga8689@gmail.com

参加申込書

2. 3 「被爆者運動から学ぶ 学習懇談会」(第9回)に参加します。

氏名		電話	
		e-mail	
聞きたい、 学びたいと 思うこと			